



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社
 コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 高山 俊隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 山崎 弘之

TEL 03-3346-3019

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	296,449	7.1	16,487	6.9	16,037	7.6	10,403	3.8
2019年3月期第3四半期	276,861	7.7	15,421	16.7	14,908	16.1	10,026	21.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,456百万円 (37.4%) 2019年3月期第3四半期 8,718百万円 (25.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	46.56	46.44
2019年3月期第3四半期	44.57	44.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	353,015	154,739	43.4
2019年3月期	338,432	161,603	47.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 153,200百万円 2019年3月期 160,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		16.00	32.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	3.7	34,000	7.6	33,000	8.4	22,000	5.2	98.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	235,000,000 株	2019年3月期	235,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	14,154,350 株	2019年3月期	10,020,866 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	223,454,846 株	2019年3月期3Q	224,979,539 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

(1)本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2)当社は、2020年1月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議致しました。これにより、2020年3月期の連結業績予測における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の消却の影響を考慮して記載しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、国内では、建設市場は堅調に推移しましたが、需給逼迫により物流費や工事費が高止まりました。海外では世界的な貿易摩擦の影響もあり、欧米の非住宅建設市場では成長の鈍化が見られましたが、政策金利低下の影響で、米国の戸建住宅着工が増加に転じる兆候が見られました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画の初年度を迎え、「グローバル・メジャー」としてのトップブランドの基盤を確立する2ヵ年とすることを目標にスタート致しました。コア事業の基本戦略として、国内では、各事業分野でのポジション確立を図るとともに、「動く建材企業」として、成長と事業拡大に向けた体制強化に取り組みました。また、昭和建産(株)、田島メタルワーク(株)、三和電装エンジニアリング(株)、林工業(株)の4社を連結範囲に加え、更なる事業拡大のスピードアップ、連携強化によるシナジー発揮に努めました。9月末には創業116年の歴史で培われた厚い顧客基盤を持つ(株)鈴木シャッターの全株式を取得しました。米国では、基幹事業のシェア拡大のための川上営業の強化、代理店支援の促進を図るとともに、米中貿易摩擦に対応し、メキシコでの生産能力を増強しました。欧州では、産業用ドア事業拡大、ガレージドアのシェア拡大を引き続き推進するとともに、5月にはヒンジドア事業強化のため、主に北欧・英国で同事業を展開しているRobust AB社(ロバスト社)の全株式を取得しました。併せて、製販の業務効率向上を図るため欧州全体のデジタル化を推進しました。成長事業の基本戦略として、日米欧のサービス分野の強化を推進し、国内では、法定検査のシェア拡大、欧米ではフィールドサービスシステムの導入推進を図りました。中国・アジア事業では、中国事業3社(宝産三和、安和金属、三和香港)、アジア事業1社(ビナサンワ)を連結範囲に加え、グループ運営の強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比7.1%増の296,449百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比6.9%増の16,487百万円、経常利益は、前年同四半期比7.6%増の16,037百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比3.8%増の10,403百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ14,583百万円増加し353,015百万円となりました。負債は、主に社債の発行や前受金の増加等により、前連結会計年度末に比べ21,447百万円増加し198,276百万円となりました。純資産は、主に自己株式の取得や為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ6,863百万円減少し154,739百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.0ポイント減少し43.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表致しました2020年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,007	45,371
受取手形及び売掛金	82,563	70,186
電子記録債権	9,526	8,585
有価証券	8,013	9,401
商品及び製品	9,640	12,678
仕掛品	23,965	44,336
原材料	22,869	24,904
その他	6,607	8,318
貸倒引当金	△1,405	△1,540
流動資産合計	204,789	222,244
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	19,903	21,491
土地	18,505	21,404
その他（純額）	21,773	23,826
有形固定資産合計	60,182	66,722
無形固定資産		
のれん	6,769	5,219
その他	17,231	17,879
無形固定資産合計	24,001	23,099
投資その他の資産		
投資有価証券	36,949	27,494
退職給付に係る資産	6,088	6,385
その他	6,686	7,317
貸倒引当金	△265	△247
投資その他の資産合計	49,459	40,950
固定資産合計	133,642	130,771
資産合計	338,432	353,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,401	54,476
1年内償還予定の社債	1,500	-
短期借入金	6,845	7,305
1年内返済予定の長期借入金	12,045	10,123
未払法人税等	4,479	1,115
賞与引当金	5,728	3,632
その他	35,868	50,402
流動負債合計	118,868	127,056
固定負債		
社債	30,000	40,000
長期借入金	10,826	11,384
役員退職慰労引当金	310	381
退職給付に係る負債	11,901	12,509
その他	4,920	6,943
固定負債合計	57,959	71,219
負債合計	176,828	198,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	81,741	84,434
自己株式	△8,989	△13,989
株主資本合計	151,068	148,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,219	2,723
繰延ヘッジ損益	△25	7
為替換算調整勘定	8,853	2,939
退職給付に係る調整累計額	△1,593	△1,231
その他の包括利益累計額合計	9,454	4,439
新株予約権	248	273
非支配株主持分	832	1,265
純資産合計	161,603	154,739
負債純資産合計	338,432	353,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	276,861	296,449
売上原価	195,054	210,012
売上総利益	81,807	86,436
販売費及び一般管理費	66,386	69,949
営業利益	15,421	16,487
営業外収益		
受取利息	380	398
受取配当金	243	262
有価証券売却益	-	0
その他	166	247
営業外収益合計	790	909
営業外費用		
支払利息	467	526
持分法による投資損失	339	52
その他	498	780
営業外費用合計	1,304	1,359
経常利益	14,908	16,037
特別利益		
固定資産売却益	51	18
投資有価証券売却益	1	34
特別利益合計	52	53
特別損失		
固定資産除売却損	52	22
投資有価証券売却損	-	1
投資有価証券評価損	0	-
子会社事業再構築費用	128	201
関係会社整理損	21	0
その他	39	-
特別損失合計	241	226
税金等調整前四半期純利益	14,719	15,863
法人税等	4,606	5,392
四半期純利益	10,112	10,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,026	10,403

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	10,112	10,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,839	505
繰延ヘッジ損益	37	32
為替換算調整勘定	123	△6,025
退職給付に係る調整額	359	361
持分法適用会社に対する持分相当額	△76	110
その他の包括利益合計	△1,394	△5,014
四半期包括利益	8,718	5,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,676	5,327
非支配株主に係る四半期包括利益	42	129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	137,476	85,734	53,600	276,812	49	276,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28	67	96	△96	—
計	137,476	85,763	53,668	276,908	△46	276,861
セグメント利益	10,115	5,664	2,360	18,140	△2,718	15,421

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 49百万円
- ・セグメント間取引消去 △96百万円

(2) セグメント利益

- ・その他の利益 49百万円
- ・全社費用 △1,249百万円
- ・のれんの償却額 △1,152百万円
- ・その他の調整額 △366百万円
- ・セグメント間取引消去 △0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米…アメリカ、カナダ他

欧州…ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国・ アジア (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	151,141	86,368	54,761	4,130	296,402	46	296,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163	79	23	0	266	△266	—
計	151,305	86,448	54,784	4,130	296,669	△219	296,449
セグメント利益 又は損失(△)	11,692	5,129	2,378	△102	19,098	△2,611	16,487

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 46百万円
- ・セグメント間取引消去 △266百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 46百万円
- ・全社費用 △1,202百万円
- ・のれんの償却額 △1,209百万円
- ・その他の調整額 △245百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……………アメリカ、カナダ他

欧州……………ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

中国・アジア……中国、香港、台湾、ベトナム

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加及び配賦方法の見直し)

上海宝産三和門業有限公司、三和シャッター(香港)有限公司、安和金属工業股分有限公司、VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD.を連結の範囲に含めたことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに「中国・アジア」を追加しております。

また、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、全社費用等の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2020年1月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議致しました。

①消却の理由	自己株式を消却することにより、資本効率の向上を目指し、また、発行済株式総数の減少を通じて株主利益の増大を図ることを目的に実施するものであります。
②消却する株式の種類	当社普通株式
③消却する株式の総数	4,000,000株
④消却後の発行済株式総数	231,000,000株
⑤消却予定日	2020年2月19日